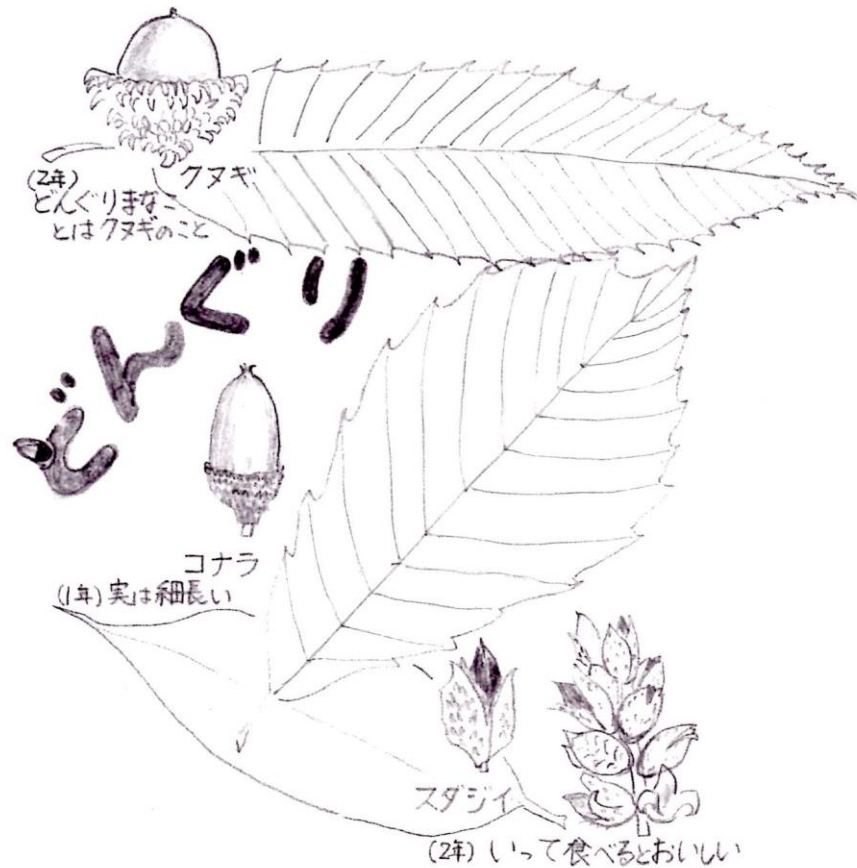




ゴロスケ報々



●望年会のお知らせ●

友の会行事のお知らせ

恒例の <望年会> が下記の通りに開催されます。
今年最後のイベント、暮れの忙しいときですが 奮ってご参加ください。

- 1.開催日 : 平成30年12月22日(土曜日)
- 2.会場 : 観察センター&ゴロスケ館前
- 3.集合 : 9時
- 4.参加資格 : 友の会会員および その家族
- 5.服装他 : 多少よごれてもよい物、飲み物、軍手

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

日時 2018年9月16日(日) 11:10~12:25

出席者 青木、秋元、大浦、落合、小島、志釜、関根、中里、中塚、西山、吉田、掛下R、尾崎R

欠席者 漆原、村松、山口

添付資料：① 横浜自然観察の森友の会設立30周年記念講演会

開催要綱と準備・運営

② 「親子☆森のミニたたら体験」たたら製鉄見学者募集告等の件
たたら製鉄見学会 チラシ案

議 題

1. 30周年事業関係

①記念講演会

前日、当日の役割決定。

受付：中里、高橋、PC操作：大浦、録音：秋元、弁当購入：志釜

ただし町田先生自宅送迎方法は中塚一任。

30周年記念誌へは各講演3行程度の要約(中塚作成)を投稿予定。

現状参加希望者数が少ない為、会員(理事は除く)宛に葉書で直接働き掛ける事とする。

内容作成：関根、内容チェック：中塚、秋元、葉書購入・印刷：秋元

住所データ(秋元へ)送付：漆原

役所、自治会、マスコミへもプッシュ：中塚、中里

②たたら製鉄見学会

応募資格は削除し、チラシは承認された。⇒広報へ

会員とその家族はイベント当日(2月16日)に会場受付にて記名してもらえば見学可とする。

③記念グッズ部会

ストラップ：デザイン決定し今月中に発注する。

④記念誌部会

記念誌：記事原稿待ち。

2. 安全管理担当理事より

会員向けボランティア保険、行事参加者向け保険に付き「熱中症」は付保されている事を確認したが、①付保されないものは無いのかの確認、②行事参加者へ付保内容を説明できる資料の作成につき今期中を目安に中塚で取り組む。

3. 後期利用推進会議の日程調整：2月2日(土)に決定。

<次回の理事会>

11月18日(日) 11:00~ 自然観察センター研修室

日時 2018年9月16日(日) 9:00~11:00

出席者 青木、秋元、井川、大浦、落合(司会)、小島、片岡、佐々木、関根(書記)、中里、西山
吉田、渡部、掛下R、尾崎R

議 題

- 1 友の会の7月中旬から9月中旬までの行事報告、プロジェクト報告をしました。
7月28日の「自然と遊ぼう」は大雨強風のため、中止しました。
- 2 12月中旬までの友の会行事予定を確認しました。
- 3 ごろすけ館利用予定を確認しました。
- 4 事務局より
 - ・11月3日(土)本郷中学校で「栄区民まつり」が開催されます。友の会も出展する予定です。当日、友の会の紹介や展示の解説などのお手伝いいただける方を、募っています。時間は準備、片づけを含み8時~16時です。半日でも結構です。可能な方はセンターまでご連絡ください。
 - ・広報よこはま栄区版8月号から、友の会行事(一部)を掲載しています。
 - ・今年も野鳥の会カレンダーの販売を11月ごろから実施します。一部1,200円です。
 - ・各PJのリーダーの方へ 行事保険をかけている行事が中止になった場合は、会計の青木さんまで、必ずご連絡ください。
- 5 新メンバーの紹介
2名のかたが入会しました。
- 6 センターより
センター便りのページをご覧ください。

〈次回の定例会〉

11月18日(日)9:00~ 自然観察センター研修室
定例会は会員どなたでも出席できます。

日時 8月25日(土)1回目 13:00~ 2回目 14:00~

担当スタッフ 小泉、村松

参加者 1回目 4名 2回目 0名

連日の猛暑のせい、家族連れの姿がほとんどなく、2回目の参加者はなしでした。

今月のテーマは「セミのぬけがら探し」です。

森から聞こえてくるのはアブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシなどの鳴き声で、にぎやかです。

涼しい森の木蔭で抜け殻はどこにあるか探して歩くと、なかなか見つからないところがあったあたり次々と見つかる場所があったりして以前は多数発見できた桜林はほとんどなしで、林床の様子が変わったのが原因かと推定されます。

発見の結果は、ごろすけ館に戻って涼しい部屋で「見分け方」のシートと照らし合わせ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、ヒグラシの4種類と判明。

クマゼミ、ニイニイゼミは見つかりませんでした。

自然と遊ぼう・村松

●森を守るボランティア体験(8月) 報告●

8月19日(日) 参加4名 スタッフ4名
担当：森の案内人・ハンミョウの会
体験テーマ：自然観察から始まる森のボランティア

定例行事「季節の森を歩こう」と同じ形式で森の生き物達の暮らしに触れながら、ゴロスケ館や炭焼き小屋・畑などで各プロジェクトの活動紹介をしました。

体験後に2名が入会されました。野鳥の会インターンシップの学生さん2名にも参加していただきました。

森のこぼれ話
ふむふむ

菜園をやっていると、動物がやってくる事がある。

春先のヒヨドリは、ブロッコリー、キャベツ、芽キャベツ、白菜といつもこの順に食べてゆく。好みははっきりしている様だ。しかし人とは違って、ブロッコリーの頂花蕾は決して食べない。ブロッコリーの葉には蕾よりも美味しい面があるに違いない。また、キヌサヤエンドウのサヤに穴を開け、器用に実だけ食べる鳥がいる。なるほどキヌサヤエンドウは、ある程度実が大きくなった方が美味しい。

二年目以降はあっという間に食べ尽くされるのに、初めて作る年の作物は動物の被害にあうことは少ない様に思う。一年目は毒見だけにしているのだろうか、それとも気付かないのだろうか。初めて目にする食べ物は、用心するにこしたことはないと教えてくれているようだ。

春先の畑ではジョウビタキがまつわりつくことがある。静岡ではこの鳥に愛情をこめて、「バカッチョ」と呼ぶそうだ。勿論鳥は馬鹿ではなく、耕作するすぐ傍で地面から出てくる虫を狙っているのである。「もっと耕せ」、「もっと働け」、と催促されているようだが、また来たかと一緒に農作業をした気になって楽しい。

ある農家のおじいさんは市場に出せないエンドウを野生のノウサギに与えて仲良くしていた。そのノウサギはその畑や周囲に害を及ぼしていないようだった。どんな風に寝ていたのだろうか。仲良く過ごす秘訣は何だったのだろうか。

動物は我々にいろいろな事を教えてくれたり、楽しませてくれる。生き物と共存する畑を作れば楽しいだろうと思った。

落合

●ミズキの池ハイド前の環境整備 報告●

1. 実施日：2018年9月2日（日）9時～10時
2. 参加者：スタッフ7人、会員参加者0人

今年もカワセミ幼鳥や飛び回るトンボの観察が楽しめているミズキの池で、ハイド前の草刈りを実施しました。生憎の小雨でしたが、集まったスタッフと奴賀レンジャーの計8人で効率良く短時間で覗き窓前の草を刈り、見通しが大分良くなりました。秋も深まるとハイド前は森一番の紅葉が見られます。皆さんぜひハイドを訪れ、生き物観察を楽しんで下さい。

カワセミファンクラブ 大浦

●設立30周年記念イベント 親子☆森のミニたたら体験 報告●

炭小屋にて炭焼き体験を行ないました。

9月15日（土）参加者4名（1家族）

同日開催の間伐体験にも参加いただきました。

9月16日（日）参加者7名（2家族）

火起こし体験で、3名（うち2名11歳）が、火起こしに成功され、認定証を授与しました。

●森の作業体験(間伐体験) 報告●

9月15日(土) 13:00～15:00

参加者 2組 4名 たたら製鉄イベント参加者 1家族 4名 合計 8名

大人5名 中学生および小学生 3名 スタッフ 8名

間伐体験を実施しました。当日は午前中が雨で午後には止むという予報でしたので、午後には実施しました。しかし、午後にも時折雨が落ちる状況でした。間伐の方法を説明した後、参加者全員に体験してもらいました。小学生はスタッフが手伝いました。一本の木を伐倒して枝はらいをしたのち、終了しました。終了後はコースターづくりを行いました。

担当：雑木林ファンクラブ

友の会行事のお知らせ

●いつでもどこでも身近な自然の案内人講座●

身近な自然の素材を使って、生きものたちのくらしやそのつながりを分かりやすく伝える自然案内「インタープリテーション」、そのスキルとプログラムの作り方を体験的に学ぶ二日間の講座です。

日時：2018年11月3日（土）～4日（日） 9時30分～16時00分（両日共）

会場：横浜自然観察の森

参加費：500円（2日間） ※友の会会員以外は1000円

定員：先着30名

対象：どなたでも

申し込み：10/31までにメールで申し込み

持ち物：野外活動できる服装（長袖・長ズボン・帽子）・昼食・筆記用具・あればルーペ・双眼鏡など

主催：横浜自然観察の森友の会

問い合わせ・申し込み：kansatsunomori@gmail.com

【報告】第3回 保安全管理フォローアップの会 (9/1 (土) 13~15時)

- 参加者 友の会5名 (落合道夫さん、片岡章さん、小島正彦さん、佐々木美雪さん、藤原 功さん)
横浜市1名 (山野崇さん)、レンジャー3名 (掛下尚一郎、奴賀俊光、黒川麻紀野)
- 内容 前半は雑木林管理ゾーン4、9 (通称：炭小屋裏斜面地区)について、管理を担当している雑木林ファンクラブの片岡さんから、作業の進捗と今年度以降の計画をお話しいただきました。スギを中心に28本のスギ・ヒノキを伐倒することが報告されました。後半は、桜林Ⅰ区のピクニック広場側通路沿いで作業を行いました。実生木がクズに覆われて生長を妨げられるのを防ぐため、クズのつるを除去しました。

【予定】第4回保安全管理フォローアップの会 勉強会 (参加者募集) 11月10日 (土) 13:00~16:00 「2年目以降の草地の特徴について」

講師：中村幸人先生 (東京農業大学元教授)

- 内容 朝比奈調整池の耐震工事によって裸地化したピクニック広場について、工事から2年目の植物の特徴や、来年予想される草地の変化について講師から話を伺う予定です。
ピクニック広場の管理方針は、工事後に中村先生を交えて検討を進めてきました。現在はそこで決まった方針に沿って作業を進めています。工事によるかく乱のあった草地は、年ごとに大きく植物の変化が見込まれるようです。草地の移り変わりを専門家とともに追う機会はなかなかありませんので、ぜひ一緒に知見を広げましょう。
資料の準備の都合上、ご出席いただける方は、できるだけ前日までに掛下<kakesita@wbsj.org>、黒川<kurokawa-a@wbsj.org>までご連絡ください。

【報告】CSR活動の一環で、外来種のセイタカアワダチソウ抜きをおこないました

桜林ではソメイヨシノなどの伐倒が進み、林床が明るくなりました。一方、外来種セイタカアワダチソウの侵入が一部で進んでしまっています。そこで9月22日にCSR活動の一環で、除去作業を行いました。作業をしたのは、(株)NTT 東日本-南関東の社員とその家族18名です。約1時間かけ、エリア内の2/3ほどを除去しました。参加した皆さんは「生きもののにぎわいのある森」について知り、楽しみながら作業を進め、とても充実した様子でした。今後も継続して活動できるように、働きかけていきたいと考えています。

【募集】イベント「つながりの森を歩こう」

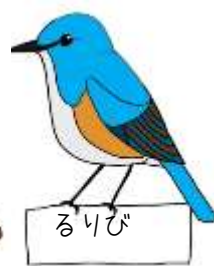
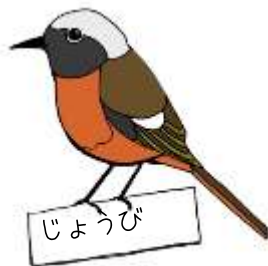
「つながりの森」とは円海山・大丸山緑地を中心とした緑と水辺の広がりです。この緑地はこの観察の森やいくつもの市民の森など、エリアに分かれ、その保全の主体もさまざまです。今回は横浜自然観察の森をスタートし、ビートルズトレイルを経て瀬上市民の森へ向かいます。2つの緑地を守る活動について、いっしょに学びませんか。11月23日 (金・祝) 時間：9時半~15時 ※雨天延期 11/25 (日) 対象：中学生以上 30名 (抽選) ※起伏のある山道を5キロ程度歩ける方。締切：11/12 (月) 申込み方法はHP参照。



【募集】 ジョウビタキ・ルリビタキ・モズの観察情報

今季も「秋冬鳥類なわばり調査」を開始しました。

上記3種の鳥たちは、冬の間なわばり（自分の場所、他の鳥を排除しようとする場所）を決めて過ごします。観察情報を多く集め、なわばり数を調べることで、園内で過ごすこれらの鳥の数を推定しようという調査です。3種の鳥たちはそれぞれ好む環境が異なるため、継続していくと森の環境の変化を知ることができます。ジョウビタキ・ルリビタキ・モズを目撃した方は、観察日と詳しい場所、わかれば雌雄をセンターにお知らせください。期間は9月から翌3月です。



【予告】 ふくろう展～この森にはフクロウがいる！～

友の会のシンボルでもあるフクロウ。ごろすけ館の由来でもあるフクロウ。「え、この森フクロウいるんですか??」展示や解説を通して、フクロウの存在を知った来館者の多くがよろこびます。この森は横浜に残された数少ないフクロウの生息地です。

展示では、フクロウと森の生きものたちのつながり、この森の保全活動がどうフクロウの暮らしとつながっているか、をお伝えします。また、最近明らかになりつつある、外来種アライグマのフクロウへの影響も展示します。実物大ぬいぐるみや、子供向けコンテンツもあります。ぜひご家族でもご覧ください。(3月末まで開催)



【募集】 平日開催「バードウォッチングCafé」

初心者向けの野鳥観察イベントを、平日開催で実施します。野外観察のあとは、バードフレンズコーヒーとともに、室内で鳥のお話を聞きましょう。週末は忙しくて出かけられない!という方におススメのイベントです。12/12(水)、1/17(木)の10時～14時半に実施。対象は中学生以上です。詳細はHPやセンターのチラシをご覧ください。



ホランシアw

** 8/1～9/31 **

ありがとう

- 8/1～ カワセミファンクラブのみなさま 自然情報のご提供
- 8/1～ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供
- 8/1 雑木林ファンクラブのみなさま 立ち枯れ伐採のご協力
- 8/3 PJ-Strix 秋元文雄さん 熱中症指数計のご寄付
- 8/16 カワセミファンクラブ 岡田昇さん 倒木情報のご提供
- 8/12、9/9 鳥のくらし発見隊のみなさま 野鳥情報の提供
- 9/5 PJ-Strix 秋元文雄さん フクロウのデータと画像の展示へのご提供
- 9/5 雑木林ファンクラブのみなさま 台風の倒木処理へのご協力
- 9/26 雑木林ファンクラブのみなさま 関係者駐車場の草刈り
- 8月～9月 石川裕一さん 岸本道明さん 今村修さん 関根和彦さん
佐々木美雪さん 佐々木彩愛さん クツワムシ調査へのご協力



行先：大久保香苗

横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/

行事スケジュール 10月～12月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●

●カワセミファンクラブ 秋の特別写真展

9/30(日)～12/23(土)

場所：ごろすけ館

●いつでもどこでも身近な自然の案内人講座

11/3(土)～4(日) 9:30～16:00

参加費：500円 ※会員以外は1000円

定員：先着30名 対象：どなたでも

申し込み：10/31までにメールで

kansatsunomori@gmail.com まで

→5ページ参照

●望年会

12/22(土) 9:00～

対象：友の会会員とその家族 →1ページ参照

●自然観察センター主催行事●

■つながりの森を歩こう

11/23(金・祝) ※雨天延期11/25(日)

時間：9時半～15時

対象：中学生以上 30名(抽選) ※起伏のある山道を5キロ程度歩ける方。

締切：11/12(月)

■幼児向け 生きものとして森さんぽ

12/1(土)・2(日)

時間：10時～12時 (各回同一内容)

対象：3～6歳の未就学児と保護者

各回40名(抽選)

締切：11/19(月)

■冬のバードウォッチング Cafe

12/12(水) ※雨天延期12/19(水)

時間：10時～14時半

対象：中学生以上 30名(抽選)

締切：12/4(火)

※いずれも申込制です。HP または観察センターのチラシをごらんください。

担当：自然観察センター

FAX 045-894-8892

Eメール yokohama-nc@wbsj.org

発行日 2018年10月24日

発行 横浜自然観察の森友の会

F A X 045-894-8892

E-mail: kansatsunomori@gmail.com

●友の会 定例行事●

●季節の森を歩こう (園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～

11/4(日)・12/2(日)

1回目 11:00～ 2回目 13:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：どなたでも

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●定点カメラで動物調査

11/10(土)

9:30～12:00

※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。

対象：友の会会員向け

持ち物：汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参

集合：ゴロスケ館集合

活動日：5月～11月の毎月第2土曜日

●みんなでバードウォッチング (野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

11/11(日)・12/9(日)

9:00～13:00 少雨決行

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

11/21(水)・12/19(水)

10:30～12:00 絵本作製

受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも

担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

11/17(土)・12/15(土)

10:00～12:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

●自然と遊ぼう (園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～

11/24(土)・12/8(土)

1回目 13:00～ 2回目 14:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：子どもから大人までどなたでも

担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜(12月は第2土曜)